

製品名: BMP-7 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab07602**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	BMP7
別名	BMP7; OP1; Bone morphogenetic protein 7; BMP-7; Osteogenic protein 1; OP-1; Eptotermin alfa
遺伝子 ID	655.0
SwissProt ID	P18075
免疫原	抗血清はヒト BMP-7 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 124-173

背景

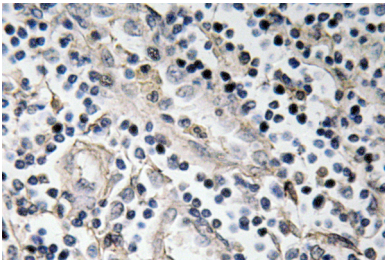
この遺伝子は、TGF- β (形質転換成長因子 β) スーパーファミリータンパク質の分泌リガンドをコードしています。このファミリーの

リガンドは様々な TGF- β 受容体に結合し、遺伝子発現を制御する SMAD ファミリー転写因子のリクルートメントと活性化を引き起こします。コードされているプレプロタンパク質はタンパク質分解によってジスルフィド結合ホモ二量体の各サブユニットが生成され、骨、腎臓、褐色脂肪組織の発達に役割を果たします。さらに、このタンパク質は異所性骨形成を誘導し、ヒト患者における骨折治癒を促進する可能性があります。[RefSeq 提供、2016 年 7 月],機能: 軟骨および骨形成を誘導します。上皮性骨形成現象の原因となる骨誘導因子である可能性があります。カルシウム調節および骨の恒常性維持に役割を果たします。 ,オンライン情報: 骨形成タンパク質 7 エントリ,医薬品: Osigraft (Stryker) の名称で入手可能です。外傷に起因する 9 ヶ月以上持続する脛骨癒合不全の治療、骨格成熟患者、自家移植が失敗または不可能な場合の治療に適応があります。 ,PTM: 293、300、315、および 316 位から始まる複数の N 末端が直接配列決定によって同定され、異なる成熟型が分泌されています (PubMed:17977014) 。 ,類似性: TGF- β ファミリーに属します。 ,サブユニット: ホモ二量体; ジスルフィド結合。SOSTDC1 と相互作用します。TWSG1 と相互作用します。 ,組織特異性: 腎臓および膀胱で発現します。脳では低濃度で発現が見られます。 ,

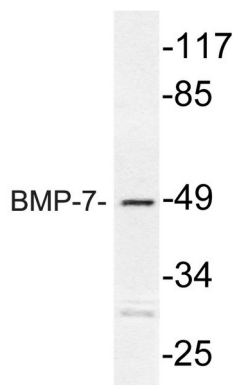
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;ヘッジホッグ;TGF- β ;

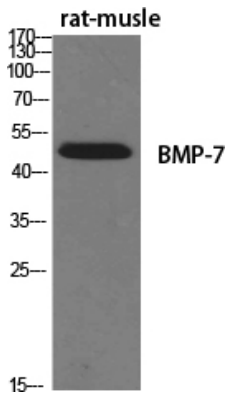
画像データ



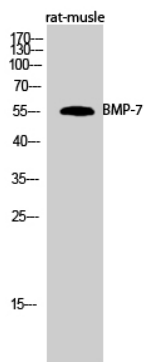
パラフィン包埋ヒト扁桃組織における BMP-7 抗体の免疫組織化学分析。



BMP-7 抗体を使用した、Jurkat 細胞の溶解液のウエスタン ブロット分析。



1: 500に希釈した BMP-7 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 500希釈の BMP-7 ポリクローナル抗体を用いたラット筋細胞のウェスタンブロット分析